

ポンプ操法の基本動作

1) ホースの結合要領

・ 操法によっては、一人でホース等の結合を行う場合があります。

- ホース (⊕オス金具) と
ホース (⊖メス金具)



- ホースとポンプ



- ホースと筒先



2) ホースと筒先の搬送要領

ホースを左肩にかつぎ(ミニポンプ隊は左脇にかかえても良い)

右肩に筒先を背負う(ミニポンプ隊は、右手で持っても良い)。

- 市民消火隊 (正面・背面)



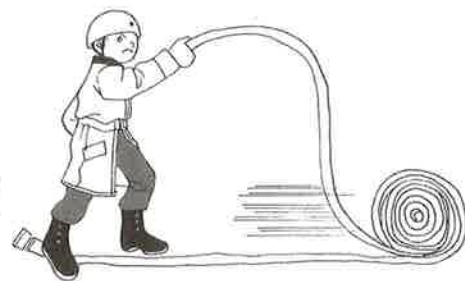
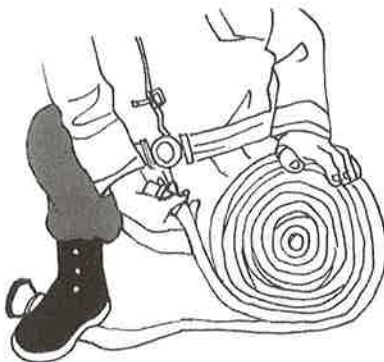
- ミニポンプ隊



3) ホースの延長要領

二重巻きホースをたて、右手でオス金具を持ち、左手でホースをささえる。

右足でホースのメス金具付近を踏みつけ、勢いよくホースが伸びるよう前方にころがし、オス金具をもって延長する。



4) 放水はじめ・放水やめの要領〈合図は、はっきりと〉

- 放水はじめ ●

右手を真上にあげる。ポンプ操作員が見える所まで(概ね、1m程度)かけ足で行き、大声で伝達する。



- 放水やめ ●

右手を横水平にして伝達する。その他の要領は「放水はじめ」に同じ。



5) 注水姿勢と注水方法

●注水姿勢●

左手でノズル近くを、右手で結合部近くを持って左足を一步前に踏み出し、やや腰を落とし、結合部を右腰にあて、筒先を斜めに向けて構える。

●注水方法●

○ストレート注水

水を棒状にまっすぐ注水する方法。
射程距離が長い。風の影響が少ない。
破壊力がある。

○噴霧注水

水を噴霧状に注水する方法。注水範囲が広がる。排煙に有効。



【ストレート注水】



【噴霧注水】



【筒先交替】

6) 筒先交替要領

交代要員は、筒先員の左前方に位置し、左手を添えると同時に左足を一步踏み込み、右手を添えると同時に右足を踏み込む。

その後、注水姿勢をとり「よし」と合図して交替する。

7) ホースの収納要領

オス金具が上になるよう二つ折りにする。その際メス金具とオス金具との間隔は、80cm位あけ、二つ折りにした方から巻いていき、バンドで結束する。



ミニポンプ隊の基本操法

1) 操法開始

この基本操法は、指揮者を含め、通常3人で編成されています。各ミニポンプ隊の実態に応じ、人員の増減を行ってください。

●集合●

指 「集まれ」の号令でポンプ後方1 mに横隊に並ぶ。

●点呼●

指 「番号」と号令。

隊員は右翼から「1」「2」と呼唱する。

●操法指示●

指 「ただ今から基本操法を行います」

「目標 前方○○」と指示する。

●定位部署●

指 「定位につけ」と号令。

隊員は、定位部署につく。

●操法開始●

指 「操作はじめ」と号令。

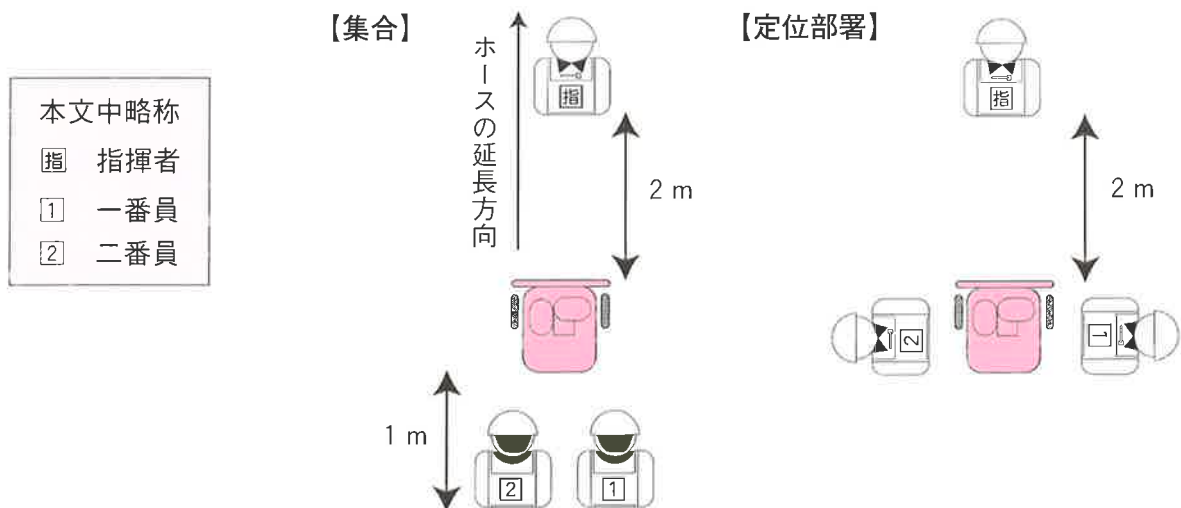
隊員は「よし」と呼唱し、行動を開始する。



【集合】



【定位部署】



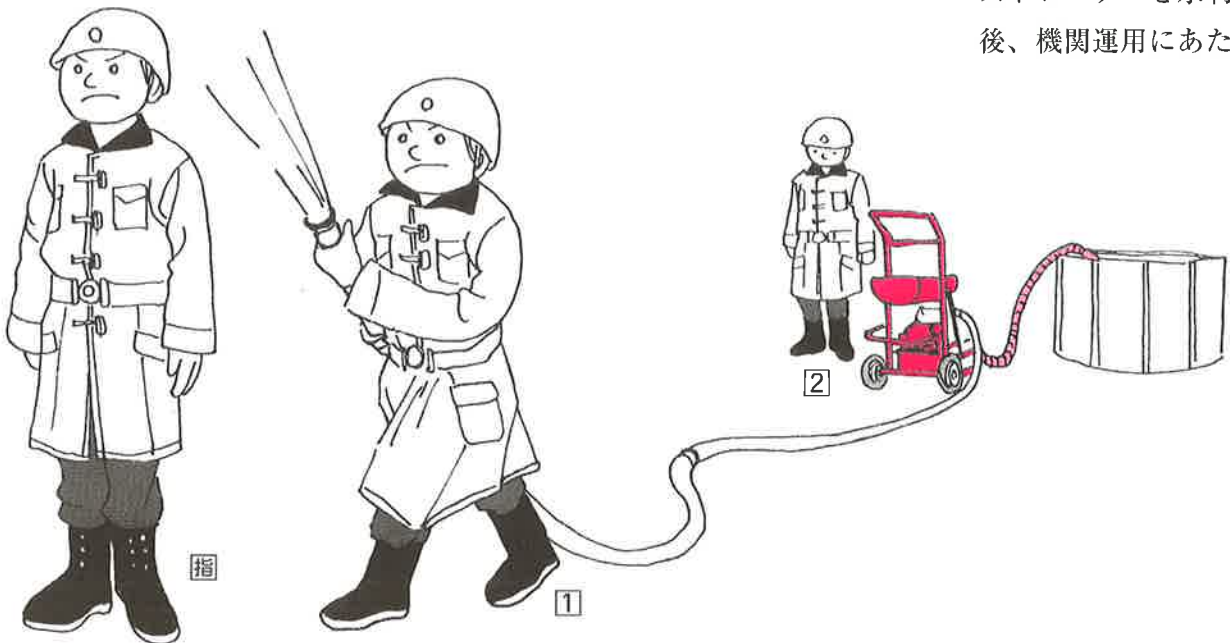
2) 操作はじめ（ホース2本延長による操作要領）

●操作はじめ●

指 「操作はじめ」と号令。
第2ホース1本と筒先を持ち、第2結合位置まで進む。
ホースを延長し筒先と結合、筒先を持ち放水位置に進む。

①② 指の「操作はじめ」の号令を受け「よし」と呼唱。
協力して台車から吸管をおろす。

① 第1ホースを延長し、ポンプに結合。
第1ホースオス金具を持ち第2結合位置に進み、第2ホースと結合。
② 吸管をポンプに結合。
ストレーナーを水利に投入後、機関運用にあたる。

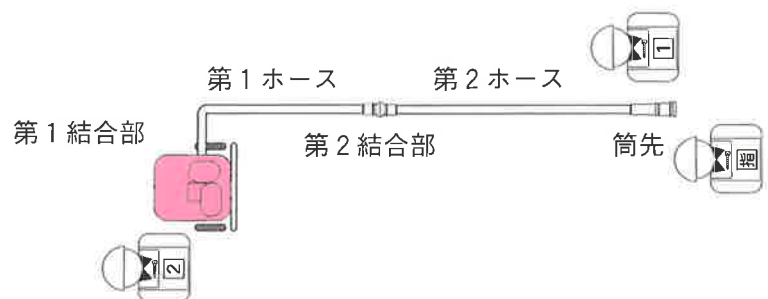


●放水はじめ●

指 ①に「放水はじめ」と号令。
伝令から戻った①と筒先を交替し、指揮に便利な位置で指揮をとる。

① 指の「放水はじめ」を復唱、
②に伝達。
筒先位置にいたり、指と筒先位置を交替し、注水姿勢をとる。

② ①の「放水はじめ」の伝達を復唱し、送水する。



3) 放水やめ

●放水やめ●

④ 「放水やめ」と号令。

①と交替し、筒先を持つ。

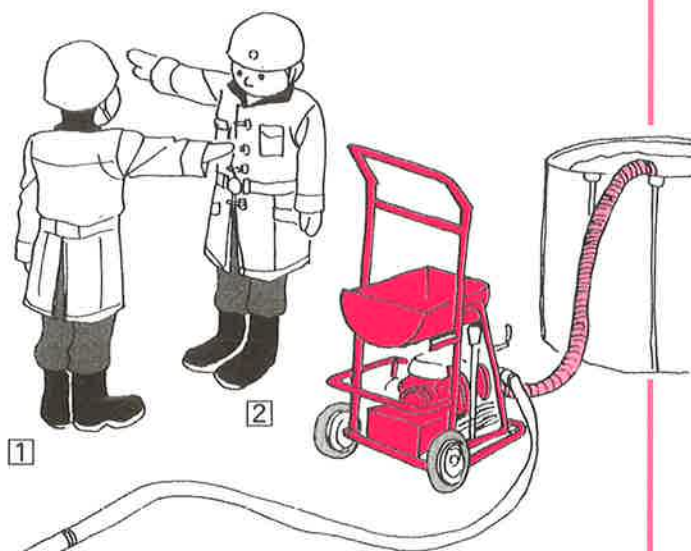
放水が停止したら筒先を地上に置き、指揮に適する位置に戻る。

① ④の号令を受け「放水やめ」と復唱。

筒先を④に渡し、②に伝達。

②の復唱をうけたのち筒先位置に戻る。

② ①の「放水やめ」の合図を復唱し、エンジンを低速にし、放口コックを閉じる。放口コックを閉じた後、エンジンを停止する。



●収納●

④ 「おさめ」と号令。

各隊員は、収納作業を速やかに行い、集合位置に戻る。

●わかれ●

④ 「わかれ」と号令。

各隊員解散。

忘れずに

- ・ポンプ収納時は、水ぬきコックを開き、完全に水をぬいておく
- ・長時間使用しない場合は、キャブレタ内の燃料をぬき、流れた燃料はただちにふき取る

市民消火隊の基本操法

1) 操法開始

この基本操法は、通常指揮者を含め5人で編成しています。各消火隊の実態に応じ、人員の増減を行ってください。

●集合●

☞ 「集まれ」と号令。

隊員は ② ③ の間を中心に横隊に並ぶ。

●点呼●

☞ 「番号」と号令。

右翼から「1」「2」「3」「4」と呼唱。

●操法指示●

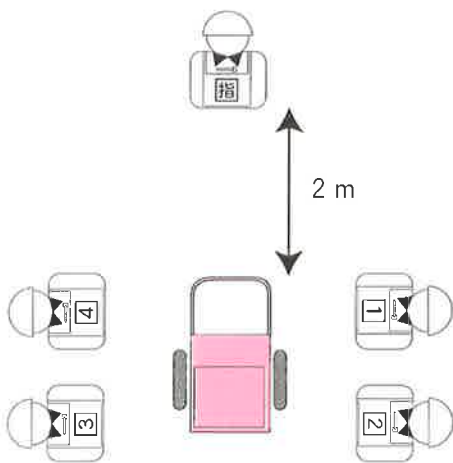
☞ 「ただ今から基本操法を行います」

「目標 前方〇〇」と指示する。



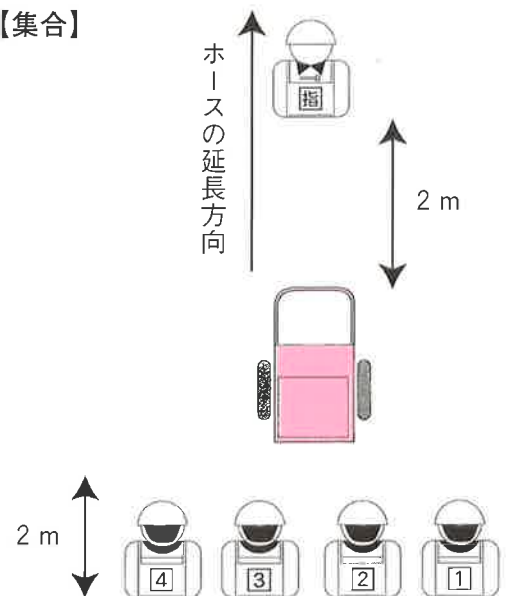
【集合】

【定位部署】



本文中略称	
☞	指揮者
①	一番員
②	二番員
③	三番員
④	四番員

【集合】



【定位部署】

●定位部署●

☞ 「定位につけ」と号令。

隊員は「よし」と呼唱し、定位部署につく。

●操法開始●

☞ 「操作はじめ」と号令。

隊員は「よし」と呼唱し、全員で吸管をおろし、ポンプ後方1 mの位置に搬送、伸長する。

2) 操作はじめ (ホース2本延長による操作要領)

●操作はじめ●

④ 「操作はじめ」と号令。

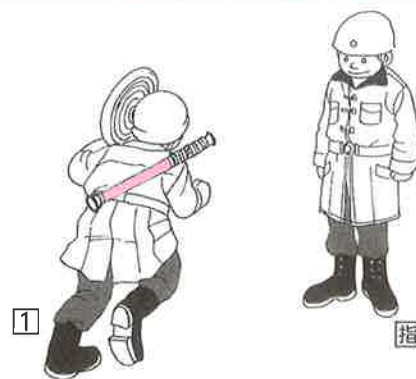
① に先行し、火点にいたる。

① 筒先と第2ホースをかつぎ、約20m前進、
第2結合位置に進む。
ホースを延長、オス金具を筒先に結合する。

② 第1ホースを第1結合位置 (ポンプ放口側)
におろし、ホースを延長する。
ポンプとホースを結合の後、
第1ホースオス金具を持ち、
第2結合位置に進む。

③ ④と協力し、吸管結合を補助。
ひかえ綱を解き、
吸管を水利投入後ひかえ綱を結び、
枕木を屈曲部にあてる。

④ ③と協力し、吸管をポンプに結合。
吸管を水利に投入後、
機関運用にあたる。



●放水はじめ●

① ②に「放水はじめ」と合図。
筒先を持ち、放水位置に向け
前進する。

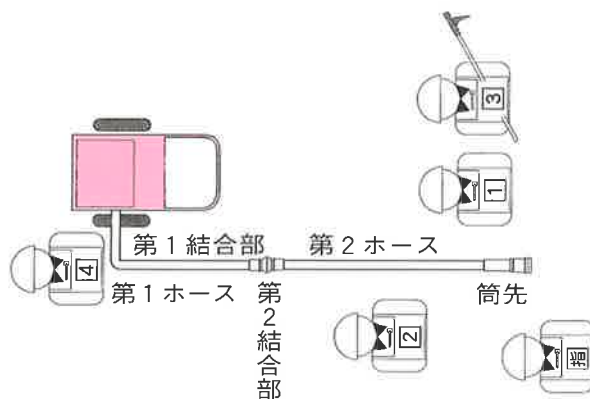
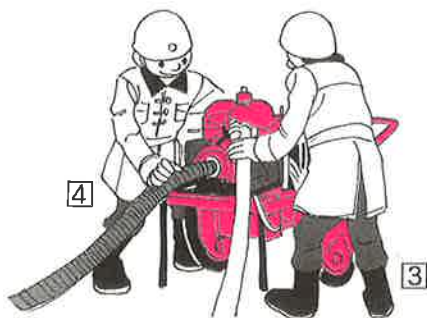
④の「とまれ」で前進をやめ、
注水姿勢をとる。

④ ①のホース延長が終わる直前に
「とまれ」と号令。
①の右前方で指揮にあたる。

② ①の「放水はじめ」を復唱し、
④に右手を真上にあげ
「放水はじめ」を伝達。
伝達後、筒先にいたり、
注水補助にあたる。

③ トビ口を搬送し、①の左側に
位置して、トビ口をかまえる。

④ ②の「放水はじめ」の伝達を
受けて、右手を真上にあげ、
復唱し、放口コックを開け、送水する。



3) ホース1本増加

●ホース1本増加●

指 「ホース1本増加」と号令。

2 指の「ホース1本増加」の号令を受け、「よし」と合図。

ポンプの手前約2mにいたり、

右手を横水平にあげ

「ホース1本増加」と4に伝達。

4 2の伝達を受け、

「ホース1本増加」と復唱し、

増加ホースを2に手渡し、

放口コックを閉じる。

1 放水が止まったら「よし」と合図。

3と協力し、筒先を離脱する。

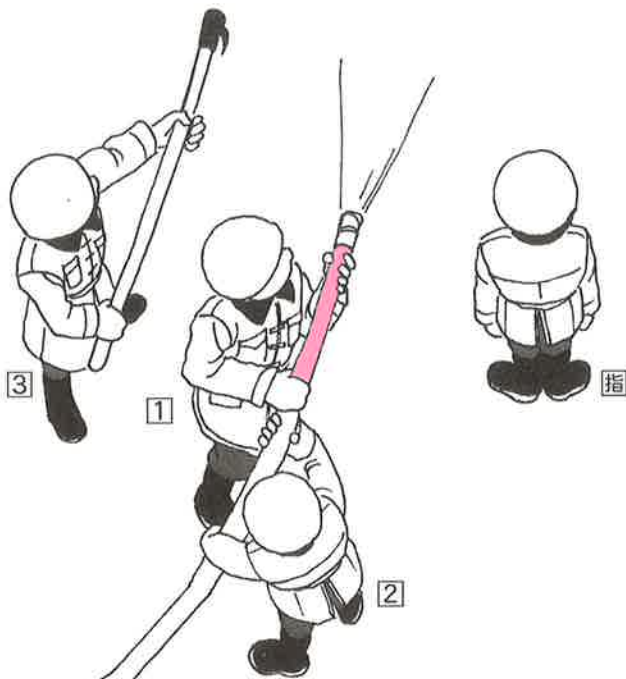
3 トビ口を置き、1を補助する。

2 4から増加ホースを受け取り

筒先にいたり、

増加ホースをひろげて、

オス金具部分を1に渡す。



1 増加ホース到着後、2からオス金具部分を受け取り筒先を結合する。

2 増加ホースのメス金具部分を持ち、3と協力して増加ホースを結合し、「よし」と合図。

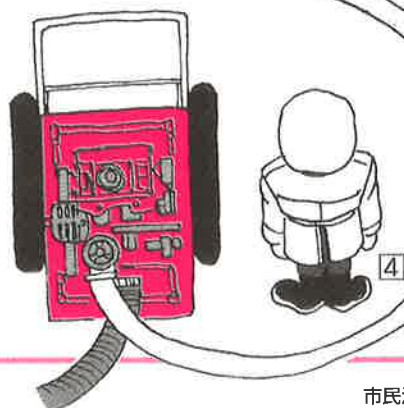
3 第2ホースのオス金具部分を持ち、2と協力して増加ホースを結合。

1 2の「よし」の合図で、「放水はじめ」と呼唱しながら前進する。

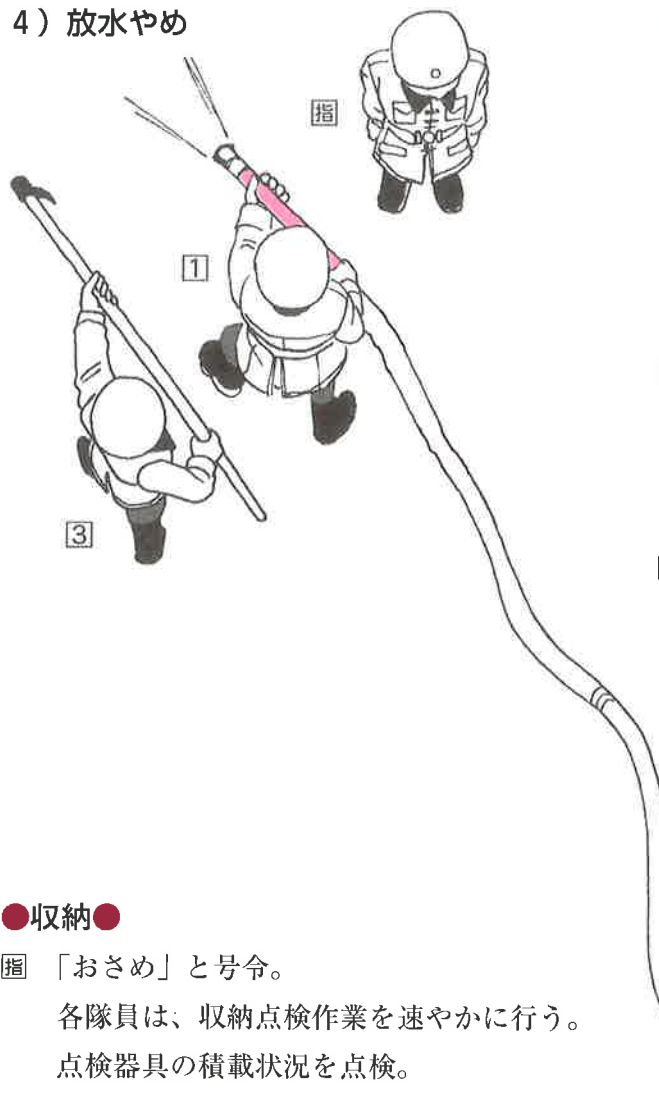
2 1に従って前進し、1の補助にあたる。

3 2の「よし」の合図で、延長を補助後、トビ口を搬送し、1の左側まで前進してトビ口をかまえる。

4 増加ホースの延長を確認し、放口コックを開く。



4) 放水やめ



●放水やめ●

指揮 「放水やめ」と号令。

② 指揮の「放水やめ」を復唱、第2結合部付近にいたり、右手を横水平にし④に「放水やめ」と伝達。もとの位置に戻る。

④ ②の伝達を受け、右手を横水平にし「放水やめ」を復唱。エンジンを低速にし、放口コックを閉じる。放口コックを閉じた後、エンジンを停止する。

① 送水が止まったら「よし」と合図。左足を引きつけ、筒先を右足ぎわにたて、正面を向く。

③ ①の「よし」の合図でトビ口を垂直に立て、ふみだした足を引きつけ正面を向く。



●収納●

指揮 「おさめ」と号令。

各隊員は、収納点検作業を速やかに行う。

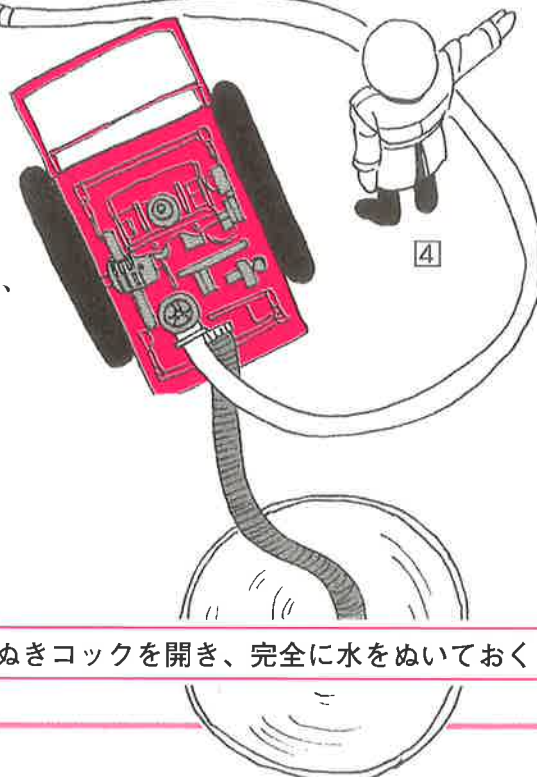
点検器具の積載状況を点検。

集合位置に整列する。

●わかれ●

指揮 「わかれ」と号令。

隊員 指揮者に向かって敬礼し、解散する。



ポンプ収納時は、水ぬきコックを開き、完全に水をぬいておく